

4 幼稚園の1日

子どもたちは幼稚園でどんな生活を送っているのでしょうか。

子どもたちにとって幼稚園の生活は、日々変化に富んでいます。その日の子どもの気持ち、気候、新しい素材や活動、環境の変化によって、昨日とは違った一日になっていきます。また、1年を通してしてみると、日本の四季折々の自然の移ろいの中で、幼稚園で行われる行事があります。

このように、“幼稚園の1日”はその日によって変わっていきませんが、ここでは、日本の幼稚園で一般的に行われている事柄や活動を、1日の時間の流れに沿って、簡単に紹介していきます。

■登園前の準備 子どもたちが来る前に

親子が登園する前に、教師たちは幼稚園の門をあけ、園庭を掃除したり、保育室の換気をしたり、遊具を確認したりして、子どもを迎える体制を整えます。そのようにして、幼稚園を楽しみにしてやってきた子どもたちが、園での1日の始まりを気持ちよくすごせるようにしています。





子どもを迎える準備を終えると、職員全体が集まって簡単なミーティングを行います。1日の活動の打ち合わせ、天候や、クラスの様子への留意点、安全面の配慮などが話され、子どもたちが楽しく1日を過ごせるように職員全体で共通認識を図ります。

■9:00 登園

親子が幼稚園にやって来ると、教師は部屋の前で出迎え、「おはようございます」と挨拶を交わします。

このとき教師は、子どもや保護者とコミュニケーションを取りながら、子どもの表情や健康状態にも気を配っています。

子どもたちは靴を脱いで下駄箱に入れ、部屋に入ります。

室内に入ると、まず自分のロッカーに荷物や上着を置き、タオルやコップを出して所持品の始末をしたり、シール帳に出席のシールを貼ったりします。



シール帳



子どもたちはそれぞれ自分のシール帳を持っています。シール帳は出欠の記録になったり、保護者との連絡に使われたりしています。

■ 登園後の活動

< 自由遊び:好きな遊びに取り組む >

登園後の支度を終わると、子どもたちは自分のやりたい遊びをして過ごします。子どもたちは自分の興味や関心に応じ、遊びを自由に展開していきます

室内には様々な遊具が置かれています。園庭に出て、固定遊具や砂場で遊んだり、動物や植物の世話をしたり、観察したりする子どももいます。

教師は、さらに新しい素材や遊びの環境を用意することにより、子どもたちの活動を広げていったりします。子どもたちが自主的に動いていく中で、教師は、子どもたちの様子を見ながら時には遊びに加わったり、援助を行ったりします。

子どもの遊びのいくつかを、ご紹介します。

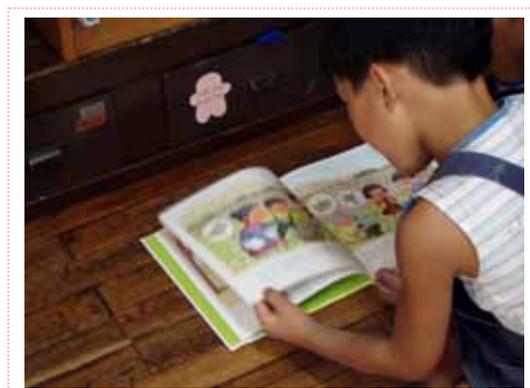
活動例 1
ごっこ遊び



活動例 2
ブロック遊び



活動例 3
絵本



活動例 4
製作

活動例 5
砂場

活動例 6
遊具での遊び



活動例 7
生き物



活動例 8
植物



< 一斉活動: クラス全員で活動する >

クラスの子ども全員が集まって、一斉に活動を行う場合もあります。

登園時に行う個別の挨拶とは別に、クラスで集まって、改めて朝の挨拶を交わしたり、当番活動を行ったりします。また、教師から提案された1つのテーマで、描画活動や共同製作活動を行ったり、全員でリズム活動に取り組んだりします。

クラスの担任が係りの子どもたちと前に立ち、皆で朝の挨拶を始めようとしています。

「みんなきちんと座れているかな」、子どもたち同士で確認しあいます。

音楽をかけ、教師とともに、リズムにあわせてダンスを踊ったりもします。

みんなで描画活動に取り組んでいます。子どもたちはそれぞれ自分なりの表現を模索していきます。

■11:30 片づけ・お弁当

11:30 頃になると、それまでの活動に一区切りをつけ、遊んでいた遊具の片付けや掃除など行います。

皆で、手洗いやうがいをし、食事の準備を終え、席についたのを確認した後、「いただきます」と食事の挨拶をし、昼食をとります。教師も、子どもたちと一緒に話をしながら食事をしています。



食事が終わると、子どもたちは家から持ってきた自分の歯ブラシで歯を磨きます。

教師は、食前の手洗い・うがい、食後の歯磨きなど、普段から生活習慣が子どもたちに身につくように導いていきます。

子どもたちが食べ終わった頃、「ごちそうさま」の挨拶をかわします。

■ 午後の活動

昼食が終わると、午後の活動が始まります。午前中の活動とは違うまた新たな遊びの発展や発見があり、子どもたちは充実した午後を送ります。

昼食をとった直後には、あまり激しい活動は控えるよう教師が指導したり、絵本や紙芝居を読んだり、比較的ゆったりとした時間を持つことが多いです。



■ 帰りの準備

降園時間が近づくと、子どもたちは、遊具や部屋の片づけを行います。そして着替えをし、家に持って帰る荷物の準備をします。

園の活動や遊びの中で、発見したもの、作ったもの、描いたもの、など、子どもによっては、たくさんの荷物を家に持って帰ることができるように、準備する姿も見られます。園から保護者への連絡の手紙なども、配布されます。

帰る準備をして集まると、子どもたちの間で「あとで一緒に遊ぼう」、「明日はこんなことをしよう」などと、約束している姿がよくみられます。教師は、子どもたちと一緒に幼稚園の1日を振り返ったり、明日の幼稚園に期待をもてるような話をしたり、紙芝居などを讀んだりして、少し心落ち着く時間をもっています。

■14:00 降園

14時頃になると、保護者が子どもを迎えにやってきます。

保護者は子どものクラスの前で終わるのを待っています。

教師はその日の幼稚園の活動や子どもの様子を保護者に話します。

保護者にとっては、幼稚園で子どもがどんな生活を送っているのか、知る機会になっているのです。

最後に、教師と子どもたちで「さようなら」と挨拶を交わし、保護者のもとへ帰ります。

■子どもたちが帰った後に

子どもたちが家に帰った後、教師は掃除をします。そして、その日の保育の記録をつけたり、他の教師と子どもたちの様子について話し合ったり、次の日の遊具・素材・教材の準備、環境の整備などをしたりします。また、週に1回程度、幼稚園全体の職員会議を行います。そこでは、指導計画の反省と立案の検討、行事のうちあわせ、子どもや家庭の様子など、様々なことについて話し合い、保育の改善へとつなげていきます。

